



## 諸注意

- 新型コロナウイルス感染症対策としての
  - 会場内でのマスク着用
  - 手指消毒
- 火災等の緊急事態発生時は学連役員並びに会場職員の指示に従う
- 受付にて配布のネームプレートの着用
- 質問時は挙手にて意思表示

ご理解ご協力の程、宜しくお願い致します。

## 来賓紹介

- 東京都学生弓道連盟より
  - 副会長 米田文彦先生
  - 副会長 竹尾和臣先生
- 木島陽子氏（日本大学OB）

## 本研修会（総会）の目的

- 学生弓道の現状を考察し、今後の問題点を明らかにする
- 連盟加盟校間の親睦と交流を図る
- 加盟校と学連の親睦と交流を図る
- 弓道に関する認識を深める

## 出席者確認及び定足数確認

- 規約第18条《定足数》  
総会は加盟校の3分の2以上の出席、又は委任状の提出がなければこれを開くことができない。

### ※「定足数」

→現在54校が本連盟に所属。よって、36校以上の出席・委任状提出があれば、本総会は正常に成立する。

⇒定足数の確認を行います。

## 議決に関する根拠

- 規約第20条《議決権の行使》  
総会の**議決権は各大学一票**とし、各大学の代表者1名がこれを行わせることができる。
- 規約第21条《議決の方法》  
総会の**議決は加盟校の過半数でこれを決議**し、可否 同数の場合は議長に一任する。但し、本規約の改正は第二十二条に従う。  
※規約改正の場合は出席者の3分の2以上の議決を必要とする。

## 本日の会議次第（概要）

### 午前の部（10:00～12:00頃）

- 表彰式
- ブロック分け抽選会  
（試合組タイム）

### 午後の部（13:20～17:30）

- 全体討論Ⅰ部
- 全体討論Ⅱ部
- 全体討論Ⅲ部
- 全体討論Ⅳ部

## 1. 表彰式

## 本年度の表彰式について

- 昨年同様、時間等の都合により、読み上げのみ
- 獲得された賞品や賞状は各大学の座席に事前に配置

## 令和4年度新人戦・女子部新人戦

男子部	女子部
<ul style="list-style-type: none"> <li>団体戦                     <ul style="list-style-type: none"> <li>優勝 慶應義塾大学</li> <li>準優勝 日本大学</li> <li>3位 國學院大学</li> </ul> </li> <li>個人戦                     <ul style="list-style-type: none"> <li>朝倉 寛悠くん (日本大学4年)</li> <li>笠原 利基くん (日本大学2年)</li> <li>新羽 宇将くん (日本大学2年)</li> <li>宮脇 颯真くん (慶應義塾大学3年) 3試合</li> <li>平山 慧 くん (慶應義塾大学2年) 2試合</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体戦                     <ul style="list-style-type: none"> <li>優勝 國學院大学</li> <li>準優勝 日本大学</li> <li>3位 慶應義塾大学</li> </ul> </li> <li>個人戦                     <ul style="list-style-type: none"> <li>三輪真由奈さん (日本大学3年) 2試合</li> <li>丹野 怜未さん (日本大学2年)</li> <li>天笠 美月さん (日本大学2年)</li> <li>三村 未来さん (慶應義塾大学4年)</li> <li>占部愛依理さん (慶應義塾大学2年) 3試合</li> </ul> </li> </ul>

## 令和5年度リーグ戦・女子部リーグ戦 リーグ優勝校

男子部リーグ戦	女子部リーグ戦
<ul style="list-style-type: none"> <li>I部 優勝校 法政大学</li> <li>II部 優勝校 中央大学</li> <li>III部 A優勝校 東京大学</li> <li>B優勝校 東洋大学</li> <li>IV部 A優勝校 上智大学</li> <li>B優勝校 工学院大学</li> <li>C優勝校 立正大学</li> <li>V部 A優勝校 東京外国語大学</li> <li>B優勝校 東京学芸大学</li> <li>C優勝校 創価大学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>I部 優勝校 桜美林大学</li> <li>II部 A優勝校 早稲田大学</li> <li>B優勝校 中央大学</li> <li>III部 A優勝校 東京都立大学</li> <li>B優勝校 東京外国語大学</li> <li>C優勝校 東京大学</li> <li>IV部 A優勝校 東京農工大学</li> <li>B優勝校 明治学院大学</li> <li>C優勝校 工学院大学</li> <li>V部 A優勝校 日本女子大学</li> </ul>

## 令和5年度リーグ戦・女子部リーグ戦 個人入賞者

男子部リーグ戦	女子部リーグ戦
<ul style="list-style-type: none"> <li>1位 熊倉 拓磨くん (日本大学4年)</li> <li>2位 竹宇治雄介くん (早稲田大学2年)</li> <li>3位 薄井 健 くん (桜美林大学3年)</li> <li>4位 石黒 慧磨くん (慶應義塾大学4年)</li> <li>5位 佐々木 俊 くん (法政大学1年)</li> <li>森岡 優介くん (桜美林大学1年)</li> <li>7位 山岸 瑠生くん (早稲田大学2年)</li> <li>宮崎 混巴くん (法政大学1年)</li> <li>9位 瀧澤 太紀くん (明治大学1年)</li> <li>若林 優弥くん (桜美林大学2年)</li> <li>藤森 翔 くん</li> <li>※新人賞                     <ul style="list-style-type: none"> <li>竹宇治雄介くん (早稲田大学2年)</li> <li>2位 森岡 優介くん (法政大学1年)</li> <li>3位 山岸 瑠生くん (桜美林大学1年)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1位 河尻 佳純さん (東京農業大学2年)</li> <li>2位 福井 唯 さん (桜美林大学4年)</li> <li>3位 大久保飛鳥さん (東京農業大学2年)</li> <li>三輪真由奈さん (日本大学3年)</li> <li>野村 真奈さん (明治大学1年)</li> <li>関根 里沙さん (明治大学2年)</li> <li>7位 佐々木桃華さん (桜美林大学4年)</li> <li>河内 あゆみさん (日本大学4年)</li> <li>武井由里菜さん (日本大学3年)</li> <li>10位 高橋いろ葉さん (明治大学3年)</li> <li>※新人賞                     <ul style="list-style-type: none"> <li>1位 三輪真由奈さん (日本大学3年)</li> <li>2位 野村真奈さん (明治大学1年)</li> <li>3位 須藤なつみさん (桜美林大学1年)</li> </ul> </li> </ul>

## 令和5年度リーグ戦・女子部リーグ戦 皆中賞

男子 (対象: 13名18試合分)	女子 (対象: 3名4試合分)
<ul style="list-style-type: none"> <li>佐々木 俊くん (法政大学3年 2試合)</li> <li>森岡 優介くん (法政大学1年 1試合)</li> <li>薄井 健 くん (桜美林大学3年 2試合)</li> <li>山岸 瑠生くん (桜美林大学1年 1試合)</li> <li>熊倉 拓磨くん (日本大学4年 3試合)</li> <li>三宅 勘介くん (日本大学4年 1試合)</li> <li>笹木舜一郎くん (日本大学3年 1試合)</li> <li>高木 涉 くん (日本大学3年 1試合)</li> <li>竹宇治雄介くん (早稲田大学2年 2試合)</li> <li>宮崎 混巴くん (早稲田大学2年 1試合)</li> <li>高橋 陽平くん (中央大学2年 1試合)</li> <li>石黒 慧磨くん (慶應義塾大学4年1試合)</li> <li>清田 大河くん (東京大学3年 1試合)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>佐々木桃華さん (桜美林大学4年 1試合)</li> <li>武井由里菜さん (日本大学3年 2試合)</li> <li>松井 和華さん (中央大学1年 1試合)</li> </ul>

ご講評  
東京都学生弓道連盟副会長 米田文彦先生

## 2023年の試合日程に関して

### 69期新人戦・女子部新人戦

- 開催期間:
  - トーナメント抽選会 : 2023年2月18日 (日)
  - 一回戦&二回戦 : 3月 4日(土)&3月 5日 (日)
  - 三回戦&四回戦 : 3月11日(土)&3月12日 (日)
  - ※4回戦ない場合は空き日とする
  - 準決勝 : 3月18日(土)
  - 決勝・3位決定戦 : 3月19日(日)
- 開催形式:
  - 一回戦~4回戦 : オンライン開催
  - 準決勝~ : 対面開催 (予定)



### 都学連百射会・女子部記録会

- 開催日時:
  - 第一候補:
    - 百射会: 4月29日 (土)
    - 記録会: 4月30日 (日)
  - 第二候補:
    - 百射会: 5月6日 (土)
    - 記録会: 5月7日 (日)
- 対面にて開催
- 入場制限等については現在検討中



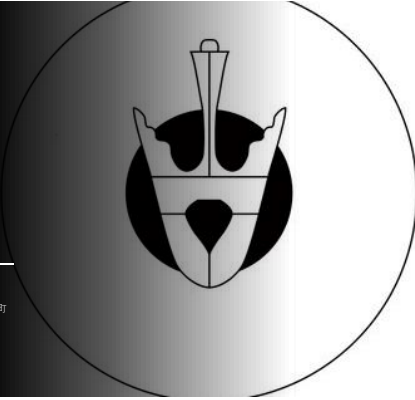
### 第53回全関東学生弓道選手権大会

- 開催日時:
  - 団体・個人予選: (男子) 5月13日 (土) ・ (女子) 5月14日 (日)
  - 団体・個人決勝: (男子) 6月10日 (土) ・ (女子) 6月11日 (日)
- 開催形式:
  - 対面開催 (於 日本武道館)
  - トーナメント形式
- その他:
  - 有観客、矢声ありの方向性で検討中



# 全日学連からの お知らせ

部学 代々木研修会  
令和4年12月11日(日) @ベルサール神保町  
全日学連71期委員長 井上由一郎



## 本日の内容

### 事業報告

- 伊勢大会について

### 事業計画

- 全国選抜大会について
- インカレ大会について

### 全日学連からのお願い

- 全日学連への登録情報について
- 連盟費について
- メールアドレスについて

## 伊勢大会について



- 第60回伊勢神宮奉納大会（於：伊勢神宮弓道場）  
令和4年11月24日（木）～11月27日（日）

大会種別	優勝	準優勝
男子王座	法政大学	国際武道大学
男子東西	東軍	西軍
女子王座	札幌学院大学	桜美林大学
女子東西	東軍	西軍

## 全国選抜大会について



- 期日：令和5年6月24日（土）・25日（日）
- 会場：明治神宮弓道場
- （公財）全日本弓道連盟と共同主催
- 運営は全日学連が担当
- 都学加盟校へのお願い
  - 的回収、手伝い役員の派遣（矢取り等）
- 都学の出場校

男子	桜美林・法政・日本・明治・慶應義塾・早稲田・中央・東京・東京都立・東京農業
女子	日本・桜美林・明治・中央・早稲田・東京農業・専修・法政・日本女子体育・立教

## インカレ個人戦予選



- 期日：令和5年7月1日（土）・7月2日（日）
- 形式：オンライン実施（令和4年8月規約改正）

## インカレ大会について



- 会場：神戸グリーンアリーナ（近の大会）  
神戸総合運動公園野球技場（遠の大会） ※申請中
- 期日：令和5年8月中旬（来年1月末頃確定予定）  
※2022インカレよりも後倒しの日程になる場合があります。
- 詳細については確定次第ご連絡します。

## 全日学連への登録情報



- 部員登録情報のデータが古いor間違っている事例が相次いでいます。
- 【登録情報】  
幹部/学連役員の氏名・電話番号・メールアドレス
- 確認方法  
全日HP→部員登録ページ→ログイン→登録情報ページ

追加部員人数入力フォーム

	一年	二年	三年	四年	五年	六年
男						
女						

部員登録フォームにて追加人数入力機能が生成されます。  
※登録情報に変更がある場合は、こちら (zenichi.kyudo@gmail.com) までご連絡ください。

大学情報・役員情報の変更を行います。

ログアウトします (作業終了時には、必ず「ログアウト」をクリックしてください)

部員追加 変更 ログアウト

## 連盟費について



- 連盟費不払いの大学一覧（都学のみ）

大学ID	大学名	領収書名義	未納額・超過額
5004	お茶の水女子大学	お茶の水女子大学弓道部	¥ 35,000
5016	専修大学	専修大学	¥ 45,000
5027	東京経済大学	東京経済大学弓道部	¥ 20,000
5053	東京薬科大学	東京薬科大学弓道部	¥ 22,000

未納のある大学は早急に振り込むようにしてください。超過額のある大学は次回の振り込みの際にその額を減額します。  
質問等あれば、zenichi.kaikei.00@gmail.com までよろしく申し上げます。

- 至急支払いをお願いします。

## メールアドレスについて



### 全日のメールアドレスの使い分けについて

- 部員登録・選手登録について  
[zenichi.kyudo@gmail.com](mailto:zenichi.kyudo@gmail.com)
- 会計について（連盟費・大会参加費など）  
[zenichi.kaikei.00@gmail.com](mailto:zenichi.kaikei.00@gmail.com)
- 上記以外のこと（委員長直通）  
[zenichi.kyudo.gkr@gmail.com](mailto:zenichi.kyudo.gkr@gmail.com)

Please follow us !



全日学連公式HP



全日学連公式Twitter

## 2.ブロック別抽選会

### ブロック分け抽選会について

- ・実施目的
  - 同リーグ内で複数ブロックが存在する箇所において組分けを行うために実施
- ・実施方法
  - 議場前方においてご集合いただき、矢振りを通して同順位の大学を振り分ける
  - 効率化を図る為、男女同時に実施
  - 招集がかかったら速やかに前方までご集合をお願いします。

**招集時以外は練習試合などを組む時間としてご活用ください。**

69期リーグ編成表【ブロック分け前】

69期女子部リーグ編成表【ブロック分け前】

	法政大学				
	桜美林大学				
I-A	日本大学				
	早稲田大学				
	明治大学				
	中央大学				
I-B	慶應義塾大学				
	専修大学				
	慶応院大学				
	東京大学				
	東京工業大学	東洋大学			
	立教大学	日本体育大学			
II-A	東京都市大学	II-B	東京農業大学		
	埼玉大学		東京農工大学		
	明治学院大学		上智大学		
MA	一橋大学	工学部大学	立正大学		
	近川大学	東京理科大学	足通工業大学		
	東京海洋大学	学習院大学	明星大学		
	駒澤大学	東京都市大学	電気通信大学		
	東京外国語大学	成経大学	東京理科資料大学		
	東京薬科大学	東京音楽大学	昭和大学		
	青山学院大学	共栄大学	国士舘大学		
VA	高千穂大学	VB	成城大学	VC	大正大学
	東京経済大学		東京工科大学		東京電機大学
	藤原大学		日本文化大学		二松学舎大学

	桜美林大学				
	明治大学				
I-A	法政大学	中央大学			
	立教大学	東京農業大学			
	慶應義塾大学	I-B	専修大学		
	東京都市大学		日本女子体育大学		
	東京大学		東京外国語大学		
II-A	日本体育大学	国学院大学	青山学院大学		
	新藤大学	東京工業大学	立正大学		
	一橋大学	II-B	埼玉大学	II-C	学習院大学
	上智大学		明星大学		東京薬科大学
	東京理科大学		工学部大学		成経大学
	東京農工大学		明治学院大学		東京理科大学
MA	大正大学	VB	東京音楽大学	VC	近川大学
	学芸院女子大学		東京海洋大学		国士舘大学
	電気通信大学		成城大学		武蔵大学
	日本女子大学		東京都市大学		駒澤大学
VA	和学の子女子大学		昭和大学		
	二松学舎大学		国士舘大学		
			高千穂大学		
			東京経済大学		
			東京電機大学		
			日本文化大学		

変更後を張る

昼休憩（13時15分まで）

## 3. 全体討論会

### 全体討論第I部

### 議題① 木島陽子氏の連盟副会長への推薦

#### 第九条《選出》

- ① 会長・副会長は総会の承認を経てこれを推薦する。 但し、会長・副会長は加盟大学のOBとする。
- ② 顧問は加盟大学のO B 団体より推薦し、総会の承認を経て会長がこれを委託する。
- ③ 委員長・副委員長・女子部委員長・女子部副委員長・専任委員・女子部運営委員は総会の承認を経て任命される。
- ④ 役員に事故等があった場合、後任は総会の承認をもって推薦・任命する。

※木島陽子氏について

- ・出身校：日本大学（昭和58年卒）
- ・戦績：女子東西4年連続出場、インカレ団体優勝2回等

## 議題② 条文内の参照条項の修正に関して

### ・提案経緯

今年8月に開催された定時総会の際に、《第14条 更迭条項》を新設した際に条項の番号が変更となった関係で条項間の引用・参照が一部ずれ、《第28条 懲戒処分》を参照するはずの第61,90,118,139条が異なる条項を参照してしまっている為、修正を図りたい。

### ・提案内容（一部抜粋）

・第六十一条《立合に対する懲戒》

立合に不都合な行為があった場合、本連盟は試合当事校・立合の双方から事実確認の上、第三十七條第二十八條に基づいて立合校に懲戒を行うことが出来る。

## 議題③ 規約28条における処分内容の拡充に関して

### ・提案経緯

近頃、懲戒処分に値すると判断された事案の処分内容を決定する際、一定期間の出場停止処分は不要とされた事案において科せられる処分が実質的に一通りのみとなっており、量刑及び各事案の重大性に基づいた裁量の余地が不可能となっている。

### ・提案内容

- 懲戒処分内容を決める際、量刑ができるように改正したい
- 罰金請求額に「幅」を作る
  - ・最低額 5,000円
  - ・最高額20,000円

## 議題④ リーグ戦・女子部リーグ戦の開催期間に関して

### ・提案経緯

規約内でリーグ戦の開催期間を記している条項の記載内容が一部不明瞭であり、明文化が必要と判断。

### ・提案内容

明文化を目的とした規約の改正。

改正前	10	11	17	18	24	25	1	2	8	9	15	16	22	23	29	30
男子	土	日	土	日	土	日	土	日	土	日	土	日	土	日	土	日
女子	男子部リーグ戦 開催期間															
	女子部リーグ戦 開催期間															
改正後	10	11	17	18	24	25	1	2	8	9	15	16	22	23	29	30
男子・女子	土	日	土	日	土	日	土	日	土	日	土	日	土	日	土	日
	男女共通開催期間															

## 議題⑤ リーグ戦期間中の練習試合の実施制限

### ・提案経緯

- 現行規約においては、リーグ戦期間中の練習試合の実施に関して一部制限を設けており、事前申告・許可制を設置している。
- しかし、SNSなどにおいて実質的に条項違反と思われる練習試合が実施されている事態が報告された

### ・提案内容

- 『議題詳細』参照

### ・論点

- オンライン開催試合に関しても事前申告を要するの？

## 議題⑥ 百射会・女子部記録会の優勝基準について

### ・提案経緯

○ 条文の内容が一部不明瞭であり、役員間でも条文の解釈に関して意見が割れた為、条文の明文化と認識の統一を図りたい

### ・提案内容

- 条文の改正を行いたい。

A選手																					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	小計
20射目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20
40射目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20
60射目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20
80射目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19
100射目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20
	計																				
	連中																				
	99																				
	72																				

## 議題⑦ 百射会・女子部記録会の出場人数に関して

### ・提案経緯

○ 各大学の選手の出場機会の増加並びに競技性の向上を企図し、百射会及び女子部記録会において、現行規約が定める大学ごとの出場可能人数制限を緩和したい。

### ・提案内容

- 現状：各大学 1人 + (余りがある場合) **最大 1人**
- 変更後：各大学 1人 + (余りがある場合) **最大 2人**

## 議題⑧ 女子部記録会の競技形式について

### ・提案経緯

現状において女子部記録会の競技本数は40本となっているが、同時期に行われる百射会において競技本数は100本と、同一形式で行われる大会の中で男女間の競技本数に明確な差がある状態となっている。

**議題⑩全関大会改革の議題とあわせて「ブロック討論会」を実施します**

B選手																					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	小計
20射目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20
40射目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20
60射目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20
80射目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20
100射目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20
	計																				
	連中																				
	99																				
	51																				

# 女子部記録会 競技本数について

東京都学生弓道連盟  
女子部委員長 伊藤朱璃

## - AGENDA -

- (1) 現代弓道におけるジェンダーに関して
- (2) 百射会・女子部記録会の概要
- (3) 女子部記録会における適正競技本数
- (4) 競技本数変更時における運営実現可能性
- (5) 議題③ 女子部記録会 競技形式の変更にに関して

# 現代弓道における ジェンダーに関して

本題に入る前に...

スポーツ社会における

## ジェンダー平等 について



(1) 現代弓道におけるジェンダーに関して

## スポーツ社会における ジェンダー平等

「男性の方が女性より体力がある」

「男女平等にすべき」

「ジェンダーに対する偏見」

## 世界的にジェンダー格差を 小さくする動き

(1) 現代弓道におけるジェンダーに関して

## スポーツ社会における男女競技規格の動き

持続可能な開発のための  
2030アジェンダ

東京五輪出場選手の  
女子比率 48.8%

2030年までにジェンダー平等を達成するロードマップを策定。  
2016年7月時点で、国際オリンピック委員会 (IOC) では22人の女性(24.4%)がメンバーとして活動、4人(25.5%)が役員会のメンバーとなっている。

2020年東京五輪は、国際オリンピック委員会 (IOC) が重視する男女平等を反映した結果、出場選手に占める女子の比率は過去最高を更新する**48.8%**となった。  
男女混合種目が18種目と倍増したことなどが要因。

1964年東京五輪 13.2%

(1) 現代弓道におけるジェンダーに関して

## 現代弓道におけるジェンダー格差

### ○ 大学弓道公式試合

	百射会・女子部記録会	全関	リーグ戦	新人戦
男子	100射	6人	8人	6人
女子	40射	3人	4人	4人

### ○ 高校・一般弓道公式試合

	神奈川県百射選手権大会	選抜大会 (高校)	国体 (一般)	天皇杯・皇后杯 (一般)
男子	100射	5人立	3人立	個人戦110名
女子	100射	5人立	3人立	個人戦110名

(1) 現代弓道におけるジェンダーに関して

内閣府男女共同参画局が掲げる  
女子差別撤廃条約 第10条(g)

「スポーツおよび体育に  
積極的に参加する同一の機会」



(2) 女子部記録会の概要

## 百射会・ 女子部記録会の概要

# 百射会・女子部記録会



東京都学生弓道連盟主催

明治神宮至誠館にて、  
毎年春に一度実施する  
男女記録射会

(2) 百射会・女子部記録会の概要

## 第60回 百射会

優勝:	佐々木 俊	(法政大学 3年)	99中
準優勝:	増田 皓太	(明治大学 1年)	96中
第3位:	熊倉 拓磨	(日本大学 4年)	95中
第3位:	薄井 健	(桜美林大学 3年)	95中
第5位:	園部 哉太	(東京大学 2年)	90中
第6位:	島 歩夢	(専修大学 2年)	86中
第6位:	栗原 貴司	(日本体育大学 2年)	86中
第8位:	福田 将平	(東京農業大学 4年)	85中
第8位:	山中 秀哲	(上智大学 3年)	85中
第10位:	廣瀬 竜朗	(國學院大学 4年)	83中
第10位:	村田 大空	(中央大学 3年)	83中
第10位:	風間 俊哉	(東京都立大学 4年)	83中
第10位:	瀧美 椋哉	(法政大学 2年)	83中

連中賞:	佐々木 俊	(法政大学 3年)	86連中
連中賞:	増田 皓太	(明治大学 1年)	68連中
連中賞:	熊倉 拓磨	(日本大学 4年)	60連中
連中賞:	薄井 健	(桜美林大学 3年)	50連中
連中賞:	園部 哉太	(東京大学 2年)	40連中
連中賞:	福田 将平	(東京農業大学 4年)	39連中

## 第60回女子部記録会

優勝:	武井 由里菜	(日本大学 3年)	36中
準優勝:	関根 里沙	(明治大学 2年)	35中
第3位:	西守 映菜	(工学院大学 2年)	34中
第3位:	野村 真奈	(明治大学 1年)	34中
第5位:	岡田 優里美	(日本大学 4年)	33中
第5位:	平井 紀里	(専修大学 2年)	33中
第5位:	山野 桃果	(早稲田大学 4年)	33中
第5位:	見来 彩	(明治大学 2年)	33中

連中賞:	武井 由里菜	(日本大学 3年)	22連中
連中賞:	岡田 優里美	(日本大学 4年)	19連中
連中賞:	平井 紀里	(専修大学 2年)	16連中
連中賞:	竹内 伽奈	(日本女子体育大学 4年)	15連中

(2) 百射会・女子部記録会の概要

## 第60回 百射会

優勝:	佐々木 俊	(法政大学 3年)	99中
準優勝:	増田 皓太	(明治大学 1年)	96中

## 第60回女子部記録会

優勝:	武井 由里菜	(日本大学 3年)	36中
準優勝:	関根 里沙	(明治大学 2年)	35中
第3位:	西守 映菜	(工学院大学 2年)	34中
第3位:	野村 真奈	(明治大学 1年)	34中
第5位:	岡田 優里美	(日本大学 4年)	33中
第5位:	平井 紀里	(専修大学 2年)	33中
第5位:	山野 桃果	(早稲田大学 4年)	33中
第5位:	見来 彩	(明治大学 2年)	33中

(2) 百射会・女子部記録会の概要

## 女子部記録会が40射である理由

一設定当時の女子競技人口・規模が小さかった  
時代背景によるものと推測。

しかし近年、女性の競技人口も増え続けている。

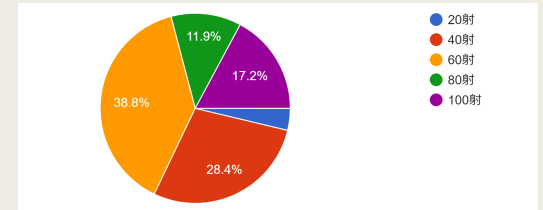
## 加盟校アンケート 記録会適正競技本数

▲ 2022年12月10日調査

部員登録数	男子	女子
全日本学生弓道連盟	5648人	4642人
東京都学生弓道連盟	1187人	1023人

(2) 百射会・女子部記録会の概要

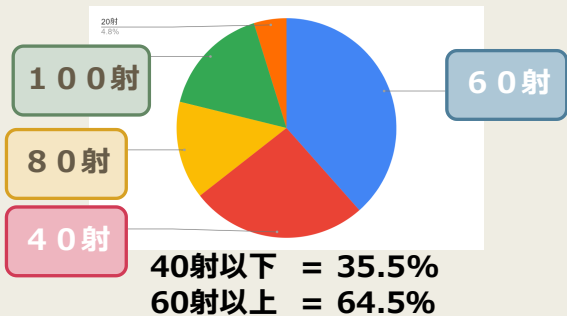
## 加盟校アンケート記録会適正競技本数 回答数 134件



40射以下 = 32.1%  
60射以上 = 67.9%

(3) 加盟校アンケート記録会適正競技本数

## 記録会参加経験者 回答数 30件



(3) 加盟校アンケート記録会適正競技本数

- ①十分な回答件数
- ②全体の回答傾向と、参加経験者のみの回答傾向が同じ。

→本アンケート結果は統計的に有意で、データに同等性があるといえる。



(3) 加盟校アンケート記録会適正競技本数

## 加盟校アンケート記録会適正競技本数 40射 (28.4%)

- 今までに問題がないため現状維持でいい。
  - 普段の練習や試合時にかける矢数と同じくらいだから。
  - 体力的にちょうどいい競技本数。
- 体への負担や疲労によるパフォーマンスの低下を危惧すると、40射が妥当であると考えられるから。
- 集中力が1番続くから。一本一本丁寧にひくことができる。

(3) 加盟校アンケート記録会適正競技本数

## 加盟校アンケート記録会適正競技本数

### 60射 (38.8%)

- 40射ではあまりに男子と差がある。
- 男子の**半分以下は少なすぎる**。しかし体力的に80射以上は多いと感じるため。
  - 体力の問題で100射は難しいが、男子の半分以下の本数では少なすぎると感じた。
  - 男子の百射会は体力的に少し厳しい中で引くという醍醐味もあると思う。それを考えると、現在の40射では割と舌がなく、80射ではハードルが高すぎると感じたから。
  - 体格や筋肉量、柔軟性の違いなどがあるため、同じ百射でも男子より女子の方が当然疲れやすいが、半分以上本数の差があるのは差別的と言われてもおかしく無いため。

(3) 加盟校アンケート記録会適正競技本数

## 加盟校アンケート記録会適正競技本数

### 80射 (11.9%)

- **男女平等**にしたいが**体力的に**男子より少ない競技本数が妥当。
    - できる限り男女平等にすべきだが、やはり生物学的な体力の違いはあるから。
    - 男女で生物学的に筋力、体力の差があるのは確かであるので、同様に100本引くのは厳しいと考える。
- しかし、現状の40本ではあまりにも差があると考えられます。女子部全体のレベルを上げるためにも、もう少し増やしてもよいのではないのでしょうか。

(3) 加盟校アンケート記録会適正競技本数

## 加盟校アンケート記録会適正競技本数

### 100射 (17.2%)

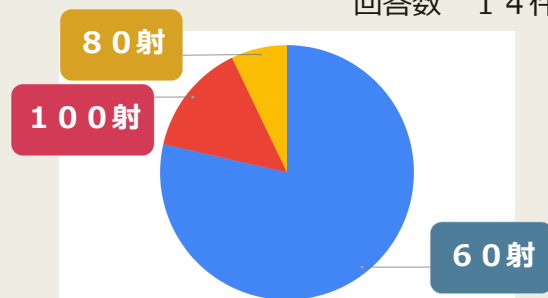
- 母数が増えることで、実力に近い記録が出やすい。
- 百射引ける機会は中々ない。**同様の機会**が欲しい。
- **男女平等**であるべき。男女間での差は必要ない。
  - 男子部員が100射引くならば、女子部員も100射引くのが妥当だと考えるから。もし女子部員が何らかの理由で100射とはならないのならば(100本引くのは体力的に厳しい、引くのがゆっくりであるため時間がかかる、など)男子部員も女子と同じく本数を減らすべきだと考える。
  - 百射会の運営が滞りなく行えていると思うので、女子も百射会にしても滞りなく行えると考え。また、弓道において男女の筋力の差をあったとしても体力面といったその他の条件は日々の積み重ねであり一緒であると考え、特別男女の競技本数を分ける必要はないと考える。

(3) 加盟校アンケート記録会適正競技本数

## 競技本数変更時の運営上実現可能性について

## 学連役員アンケート記録会適正競技本数

回答数 14件



(4) 競技本数変更時の運営上実現可能性について

## 学連役員アンケート記録会適正競技本数

### 60射

- 40射だと正確な記録を残すことが難しい。
- 40射では入賞者の記録に差が開きにくい。(優勝者と第5位の差は3中)
- 40射では少ない気もするので、60射がいいと考える。ただし参加人数を保ちながら矢数を増やすことが理想である。
- 体力的な問題で60射が良いと考える。百射会で退場者が複数人出ていた為。女子では60射が限度で、それ以上は退場者が多発しかねないと考える。

### 100射

- 社会人では女性選手も百射引く機会があるため100射が良いと考える。

(4) 競技本数変更時の運営上実現可能性について

## 競技本数変更時の運営上実現可能性

- ① 運営上観点から、40射→60射に変更。
  - (一度に40射→100射は厳しい)
- ② 参加人数を減らすことで運営可能なタイムテーブルを組むことができる。
- ③ ただし懸念点は多数存在する。
  - (1) 学連役員の大大会運営未経験者(新2年生)が初めて大会運営に参加する大会
  - (2) タイムテーブル上、遅延が発生しかねない(的替えの回数増加、選手の体力)

(4) 競技本数変更時の運営上実現可能性について

## 議題⑧ 女子部記録会 競技形式 の変更に関して

### 議題⑧

### 女子部記録会の競技形式の変更に関して

現状において女子部記録会の競技本数は40本となっているが、同時期に行われる百射会において競技本数は100本と、同一形式で行われる大会の中で、**男女間の競技本数に明確な差がある状態**となっている。

上記のような競技本数に設定されていた経緯として、設定当時の女子競技人口・規模が小さいことが考えられるが、女子部員数の全般的な増加傾向に伴い、競技レベルも上昇傾向にあり、競技方法の同一化や更なる競技レベルの上昇の方法を模索している次第である。

(5) 議題⑧ 女子部記録会 競技形式の変更に関して



## 議題⑧

### 女子部記録会の競技形式の変更に関して

以上を踏まえて、

女子部記録会競技本数について加盟校の皆様と今後の大会方針を考えたい。

- ① 競技本数変更しない。(計40射)
- ② 競技本数変更する。(計60射)

(5) 議題⑧ 女子部記録会 競技形式の変更に関して

## 議題⑨ 『対面試合マニュアル(仮称)』に関して

### ・提案経緯

先日開催された「令和5年度リーグ戦・女子部リーグ戦」において、認識や引き継ぎ内容の違いに基づく、行き違いやトラブルが複数報告されており、ある程度の共通認識の構築並びに当日の流れに関する統一を行うことの必要性が提起されたため。

### ・提案内容

- 別紙「対面試合マニュアル(草案)」を参照

### ・補足

- 現時点では、リーグ戦並びに新人戦を予定しており、各大学間で開催される定期戦や練習試合等に適用する予定はない。

# 10分休憩

(14:30再開予定)

## 全体討論会第Ⅱ部

## 議題⑩ 「全関大会改革案」に関して

### 案① 持続可能かつ正常な大会運営に向けて

#### ・提案経緯

- ・ 物価高騰に伴う設営費や人件費の高騰に伴い、会計上の「マージン(繰越金)」の確保が困難となりつつあり、可及的速やかな収支の改善とマージンの確保が必要。

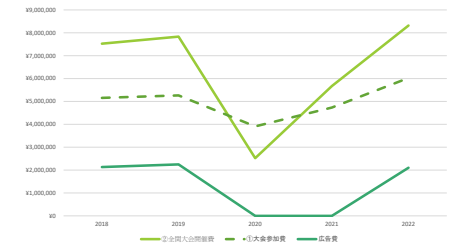
#### ・提案内容

	変更前		変更後	
	2019	2020	2021	2022
団体戦 (男女共通)	各 15,000 円	各 20,000 円	各 20,000 円	各 15,000 円
個人戦 (男女共通)	各 1,500 円	各 2,000 円	各 2,000 円	各 1,500 円
OB戦	各 15,000 円	各 25,000 円	各 15,000 円	各 25,000 円

全関東学生弓道選手権大会 参加費変更				
	2019	2020	2021	2022
団体	¥ 10,000	¥ 20,000	¥ 20,000	¥ 15,000
個人	¥ 1,000	—	¥ 2,000	¥ 1,500
OB	¥ 15,000	—	—	¥ 15,000

全関東学生弓道選手権大会 参加人数推移					
	2018	2019	2020	2021	2022
団体	167	172	107	101	146
個人	1968	2004	-	1221	1673
OB	70	72	-	-	46



全関東学生弓道選手権大会 収支推移(概略)					
科目	2018	2019	2020	2021	2022
収入					
①大会参加費	¥5,158,000	¥5,264,000	¥3,910,000	¥4,732,500	¥6,024,500
広告費	¥ 2,134,000	¥ 2,251,000	—	—	¥ 2,102,000
支出					
②全関大会開催費	¥7,525,110	¥7,833,169	¥2,524,500	¥5,674,193	¥8,316,910
①-②	(¥2,367,110)	(¥2,569,169)	¥1,385,500	(¥941,693)	(¥2,292,410)

## 補足：全関大会における収入と支出

収入項目
・ 大会参加費
◦ 団体戦参加費(男女)
◦ 個人戦参加費(男女)
◦ OB戦参加費
・ 広告費
◦ 企業広告
◦ 加盟校広告
◦ 運営負担金
・ 各種援助金
・ グッズ売り上げ

支出項目
・ 会場使用料
・ 会場設営費
・ 賞品賞状関係費
・ 大会パンフレット印刷費
・ グッズ製作費(22年12月大会より廃止)
・ 諸経費
◦ 役員、手伝い役員食費
◦ 郵送通信費
◦ 交通費
◦ 清掃費
◦ スポーツ保険料

## 試算に関して

### ・ 2022年大会(第52回大会)と同等の規模感で開催と想定

#### 仮定値一覧

#### ・ 参加者数

- ・ 団体 : 男女合計150チーム
- ・ 個人 : 男女合計1700人
- ・ OB戦 : 50チーム

#### ・ 参加費

- ・ パターン①: 現行の参加費で計算
- ・ パターン②: 改定案の数値で計算

#### ・ その他

- ・ 収入として計上される広告費に関しては ¥2,100,000と想定
- ・ 同等の規模想定のため支出に関しては ¥8,320,000と想定

パターン①				
科目	名目	人数	参加費	合計
収入	大会参加費		¥ 5,550,000	
	団体	150	¥ 15,000	¥ 2,250,000
	個人	1700	¥ 1,500	¥ 2,550,000
	OB戦	50	¥ 15,000	¥ 750,000
	広告費		¥ 2,100,000	
	収入合計		¥ 7,650,000	
支出	開催費用			¥ 8,320,000
	会場使用料		—	—
	会場設営費		—	—
	賞品賞状関係費		—	—
	パンフレット印刷費		—	—
	グッズ製作費		—	—
	伝票番号発行費		—	—
	役員		—	—
	郵便通信費		—	—
	交通費		—	—
	清掃費		—	—
	保険料		—	—
		支出合計		¥ 8,320,000
	最終収支		¥ -670,000	

パターン②				
科目	名目	人数	参加費	合計
収入	大会参加費		¥ 7,650,000	
	団体	150	¥ 20,000	¥ 3,000,000
	個人	1700	¥ 2,000	¥ 3,400,000
	OB戦	50	¥ 25,000	¥ 1,250,000
	広告費		¥ 2,100,000	
	収入合計		¥ 9,750,000	
支出	開催費用			¥ 8,320,000
	会場使用料		—	—
	会場設営費		—	—
	賞品賞状関係費		—	—
	パンフレット印刷費		—	—
	グッズ製作費		—	—
	伝票番号発行費		—	—
	役員		—	—
	郵便通信費		—	—
	交通費		—	—
	清掃費		—	—
	保険料		—	—
		支出合計		¥ 8,320,000
	最終収支		¥ 1,430,000	

## ・案② 全関東大会における女子団体の出場人数に関して

### ◦ 提案経緯

近年の女子部員数の全般的な増加傾向に伴い、定員を3人として設定している現状は、実情に伴っていないものであると言わざるを得ない。また、出場選手の制限により各大学部員の出場機会が過度に制限されている現状は改善すべき状態であると考えられる。ついては、男女間の出場選手定員の差の是正し、実情に則した設定にすることが運営として求められると考える。

### ◦ 本研修会における目標

具体的な中・長期的な方針の策定又は規約改正を行う場合は実際の改正に至るまでの道筋の決定を目標とする。したがって、本研修会で策定した方針などが2023年大会から即時適用されることは原則無いものとする。

## ブロック別討論会

## ブロック別討論会

### ・目的

- 所属リーグに関わらず、幅広い意見交換を行うことを目的とする。

### ・討論テーマ

**現状の男女間の競技方式・競技人数の差の是正にむけての具体的なアプローチと見解・方針について**

**30分の意見交換ののちに各ブロックの代表者が発表**

※学連役員が1名、ファシリテーターとして参加します

## 方針決定に関して

### ・女子部記録会

- 競技形式を変更しない : 40射
- 競技形式を変更する : 60射

### ・全関東学生弓道選手権大会

- 女子3人立ち→4人立ちへの変更
- 女子2チーム目の登録可能にする
- 交代枠を増枠し、間接的に出場機会を増やす

## 10分休憩

(15:30再開予定)

## 全体討論会第Ⅲ部

## お知らせ：就活サポートの案件紹介

- ・株式会社ジールコミュニケーションズより、就活サポートの案内あり
- ・先方の依頼内容
  - 「弊社サービスに興味を持って頂いた大学との取り次ぎ、連絡先の共有」
  - ・ 本研修会終了後をめぐりにメールを送り、興味ある大学を募集予定
- ・情報開示範囲
  - 幹部名簿に記載の一部幹部の連絡先のみ
  - あくまで連絡用の開示のため

## お知らせ：2023年オープンチャット 公開について

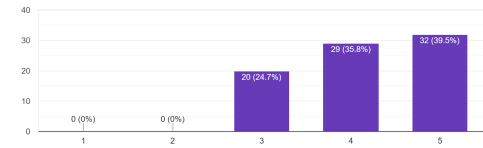


## 令和5年度リーグ戦 大会後アンケート

- ・ 令和5年度リーグ戦・女子部リーグ戦実施後にアンケートを実施
- ・ 収集した回答や意見を基にリーグ戦・女子部リーグ戦を振り返り、適宜質疑応答等を行います。

## アンケート集計：定時総会（8月）に関して

【定時総会】定時総会において本大会の実施に際しての各種説明を行いました。説明内容に関して81件の回答



## アンケート集計：リーグ戦準備段階に関して

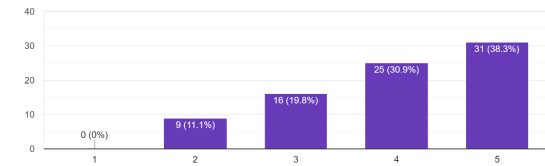
- 頂いたご意見
  - 「訂正版が多い」
  - 「何が訂正されたかわからない」
  - 「前年度の記録用紙がHPに掲載されていて紛らわしかった」

## 検討・提案事項 リーグ戦・女子部リーグ戦等の呼称

- **現状**
  - 令和4年（2022年）に実施するリーグ戦の名称が「令和5年度リーグ戦・女子部リーグ戦」
  - 令和4年度に実施する新人戦・女子部新人戦の名称が「令和5年度新人戦・女子部新人戦」
 ⇒元号と連盟関連書類等での表記が不一致な状態
- **提案**
  - 元号などに因らない、呼称への変更  
例）第69期新人戦・女子部新人戦、第70期リーグ戦・女子部リーグ戦etc.

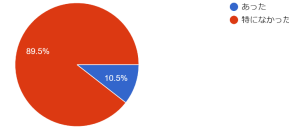
## アンケート集計：試合結果等の公表

【資料公表】リーグ戦実施に際して各種資料の公表を行っていましたが、公表内容や時期に関して81件の回答

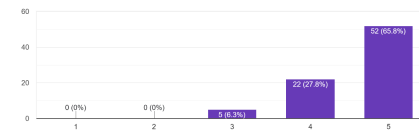


## アンケート集計：オープンチャットに関して

オープンチャットでの連絡等において、トラブルはありましたか？ 76件の回答

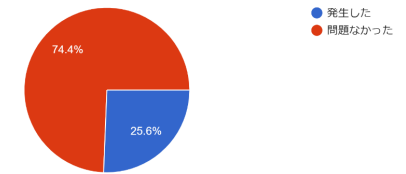


【オープンチャットに関して】本年度は各試合のオープンチャットを指定したが、その対応に関して79件の回答



## アンケート集計：オンライン試合に関して

【オンライン試合自体に関して】各週のオンライン試合開催時にトラブル等は発生したか 78件の回答



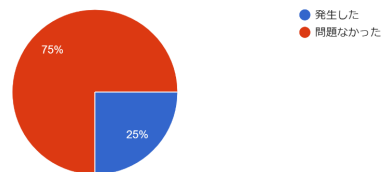
## アンケート集計：オンライン試合に関して

- 問題が起こったときの対処が遅れた事案、多々報告
  - 矢声を出している大学
  - 立合がZoomの仕様を把握しておらず、ルームを立てるのが遅延
  - 指定外の用紙を提出されたが、訂正を要求する前に試合が開始
  - 立合の許可のない、試合開始
  - 交代手順を踏んでいない大学による、交代した選手を含めた立の開始
  - 映像が落ちたことに気づかず、試合の続行を許す立合
  - 射位線を越えて指導をしている、との相手校からの誤った指摘

⇒立ち合い担当の各種資料の読み込み不足に対する意見多数

## アンケート集計：対面試合に関して

【試合自体に関して】対面試合開催時にトラブル等は発生したか 60件の回答



## アンケート集計：その他

- **オンライン試合で、対面試合のような閉会式は行わないのか？**  
→現時点では開会式・閉会式を行う形はとっておらず、特段の要望等がなければ今後も義務づけることはしない方針。
- **オンライン試合で、矢声を出すことはできないのか？**  
→開催道場間でのルールの違いや感染症対策の水準に差がある可能性を考慮し、可能な限り同一条件下での試合開催を実現する為、一律で禁止としている。

## 質疑応答

### 事前回答の監督・コーチ質問回答

- ・7月中旬ごろに各加盟校の監督・コーチ向けに意見収集を実施
- ・頂いた質問などに対して見解・返答致します。

### 質問① 試合会場確保 協力をお願い

- ・質問内容（要約）
  - 道場設備がないため、現状では試合会場の確保に苦戦している。射場確保について、（連盟に）調整・力添えを頂きたい。
- ・回答（見解）
  - 公営道場の質（設備、場所等）には一定のばらつきがあり、同品質の射場を複数個用意するのは至難であるとする。学連側で道場の品質等が一定に担保できない。
  - 貸出を行った際の「試合結果への影響」が懸念され、割り当ての公平性を保つことが困難であると考えられる為、現時点では消極的である

### 質問② 加盟校所有道場の設備について

- ・質問内容（要約）
  - 的までの距離が28mに満たない道場があるように思える。また、的の高さが適切でなかったり、照明が暗い道場が存在しており、いかなるものかと考えている。照度に関しての決まり等はないのか？
  - （遠征先？）道場の軒下にハチの巣があった。大学当局に取り除くように要請できないのか？
- ・回答（見解）
  - 都学連の競技規則は都学連規約・全日学連規約・日弓連規約に準拠しており、本連盟管理の道場ではない都合上、管理運営に関しては各加盟校の責任であると考ええる。
  - 本連盟はあくまでも「大会運営機関」であり、公的権力を有していないため、大学当局に要請はできない。また、校内施設の安全確保は各大学当局の責任の範囲であるため、直接問い合わせさせていただきたい。

### 質問③ 新人戦の開催時期について

- ・質問・提案内容
  - 例年3月に新人戦が実施されているが、4月開催にしてはどうか？
    - ・現状では、その年のリーグ戦に出場した選手は新人戦に参加できない為、全員に参加の機会を与えてはどうか

### 質問④ 新人戦について

- ・質問（要約）
  - 男女それぞれで「新人戦」、「女子部新人戦」と呼称されているが、なぜ女子の方だけ「女子部」とつくのか？
- ・回答（見解）
  - 東京都学生弓道連盟と学生弓道の成り立ちと発展過程によるものであると思われる。リーグ戦なども同様だが、成立過程的に男子新人戦の方が先であった為、のちに設置された女子の新人戦が「女子部新人戦」となったと思われる。
  - 近年の傾向的に、名称が変更される可能性はなきにしもあらず

### 質問⑤ 第52回全関におけるシード校の試射について

- ・質問内容（要約）
  - 第52回全関ではシード校の試射が実施されていたが、かえって不公平な印象を受けた。実力校に有利なルール設定が行われている疑念を持たれてしまう可能性があるように思った。
- ・回答（見解）
  - この意見書以外でも先生方などから同様の指摘を頂いているが、結果的に公平性が損なわれる可能性があるとして現時点では考えている。
  - 今年度は試験的に実施したが、第53回では実施しない方針。

### 質問⑥ リーグ戦開始時期に関して

- ・質問（要約）
  - リーグ戦の開催時期を後ろ倒しにできないか
    - ・夏休み中に十分な練習を積んでからリーグ戦に望めるようにしたい
    - ・リーグ戦が終わってから間を空けずに王座に挑めるようにしてはどうか
    - ・↑のほうが、都学代表校が王座獲得常連校となれるのではないかと
- ・回答（見解）
  - 理論的には可能であるが、全日学連の事務処理等の都合上、事務的に不可能である可能性が非常に高い。（担当者は都学連所属）  
例.東西出場選手は事務的に10月中に決定する必要がある。

### 質問⑦ 選手交代の可能タイミングについて

- ・質問（要約）
  - 新人戦やリーグ戦における選手交代可能タイミングが「9射目以降」から「5射目以降」に改正された背景を知りたい。（「9射目以降」にもどすことを検討してほしい）
- ・回答（見解）
  - 試合展開、マッチメイク（戦略）の自由度を高める為の変更であると理解している
  - 「9射目以降」のもっともらしい理由がない

## 質問⑦ オンライン試合の運営に関して

- ・ 質問（見解）
  - 本学は2022年の新人戦において、対戦校と別時間帯に行射する形で試合を実施した。ただし、この裁定が行われた（認められた）経緯に関してはまだに部員・コーチとも納得しておらず、公平性が著しく欠かれたものであると認識している。この件に関して、
    - ・ なぜ行射時間帯の異なる試合結果が認められたのか？
    - ・ 今年度のリーグ戦で同様のケースが生じた際はどのように対処するのか？
- ・ 回答（見解）
  - オープンチャットにて事前に考え得る様々な不都合などに関して両校代表者の承認を経てから許可を出している（情報開示可能）
  - 実施要項に記載の通り、上記裁定は例外であり、承認には非常に消極的である。行射時間を併せられない場合、強制敗北とすることも検討している。

## 質疑応答

## 10分休憩

(16:30再開予定)

## 全体討論第Ⅳ部

## 新年度役員に関して

## 新年度役員募集に関して

- ・ 提案経緯
  - 現役員の出身校に少なからぬ偏りが発生しており、これに伴う「加盟校ごとの負担量」にも無視できない差が発生している。
- ・ 提案内容
  - 派遣校の負担量と同等と考えられる負担をすることで、負担の均一化を図る
  - 非派遣校に「役員派遣負担金」を課し、**原則80,000円**を徴収する  
※ただし、女子大は並びに後述の面接参加者の大学は半額とする

## 前述の「80,000円」の根拠

「各加盟校が役員一人を派遣する際の負担量」を定量的に表すことができると仮定し、  
「**加盟校が役員一人を派遣する際の負担量**」=「**定量的な役員一人の価値**」  
と表せるとした場合、

↓  
連盟視点より、  
「**定量的な役員一人の価値**」=「**当該役員に対して連盟が負担している価値や金額**」  
と置き換えることができる

↓  
上記において、役員に対して連盟が負担している価値や金額は、**交通費のみ**である事より、  
「**加盟校が役員一人を派遣する際の負担量**」=「**役員一人分の交通費**」  
とした

## 役員一人の交通費に関して（都学連）

例) 南嶋の場合（事務所から平均的な距離に住む役員）  
・ 家 ⇄事務所：往復約1,000円  
・ 基本的に常時月・木の週2日出勤（月8回出勤）

（計算式）

$$1,000\text{円}/\text{回} \times \text{月}8\text{回} \times \text{10ヶ月}(\text{※}) = 80,000\text{円}/\text{年かかる}$$

※2か月分は遠征や所用で出勤していない日を換算

他役員の年額平均の交通費を計算した結果  
→**全体平均で約80,000円程度であることが判明**  
⇒上記より、「役員一人の交通費（平均額）」として換算

## 「役員派遣負担金（仮称）」の使用用途

- ・ 役員負担金による収入（仮定）
  - 最低：80,000円 × (54-39) 大学 = 1,260,000円
  - 最高：80,000円 × (54-13) 大学 = 3,280,000円
  - 平均：80,000円 × (54-26) 大学 = **2,240,000円**
- ・ 事務所維持費
  - 家賃：年額約3,000,000円（全日学連と折半の為、実質**1,500,000円**）
- ・ 役員交通費
  - 年額平均80,000円/人 × 18人 = **年額1,440,000円**
- ・ 設備投資（余剰分）